

## 第5回研修コーディネーター・ワーク報告書

### テーマ：「想いの見える化から人材育成を考える」

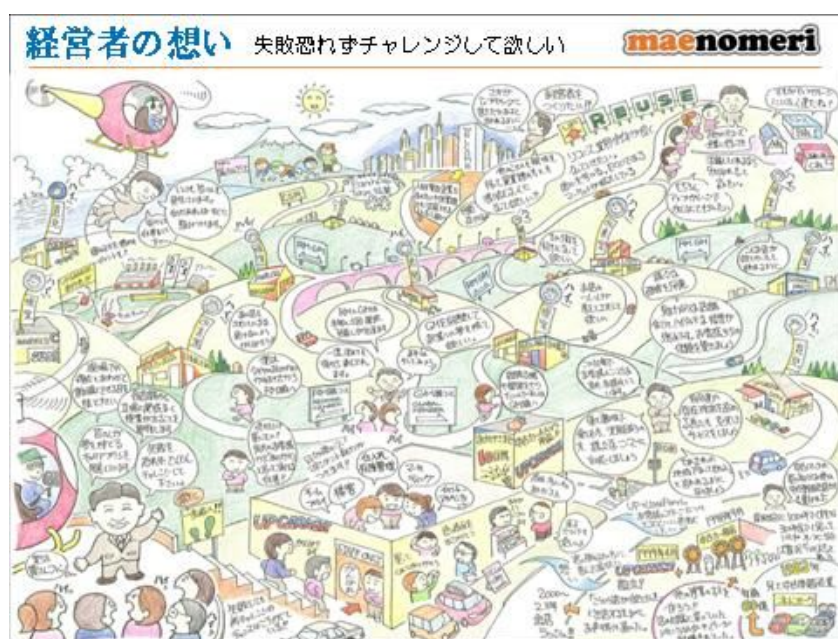
～概念を伝えるアウトルック・スケッチの可能性を探る～

経営理念や社長の想いを社員全員に浸透させることが大切だと知りつつも、それを実現している組織はほんのわずかです。それは人の想いを言葉で伝えることが難しいからではないでしょうか。今回の研修コーディネーターワークは、人の想いを伝えるツールとしてアウトルック・スケッチを学び、それを活用した人材育成について考えていきました。

#### アウトルック・スケッチとは？

人は表現の手段をたくさん持っています。伝えたい気持ちを楽器で音を弾き鳴らし表現する人もいれば、体全体を使って踊り表す人もいます。もしかしたら私達は言葉というツールに頼りすぎているのかもしれない。

言葉で伝わらないと、早々にあきらめるか、場合によっては相手を「わからずや！」と言って責めてしまいます。今回のアウトルック・スケッチ、表現されない**暗黙の領域を絵で表してみよう**という試みであり、まずは実際に活用している事例の紹介がありました。



#### なぜ言葉が届かないのか？

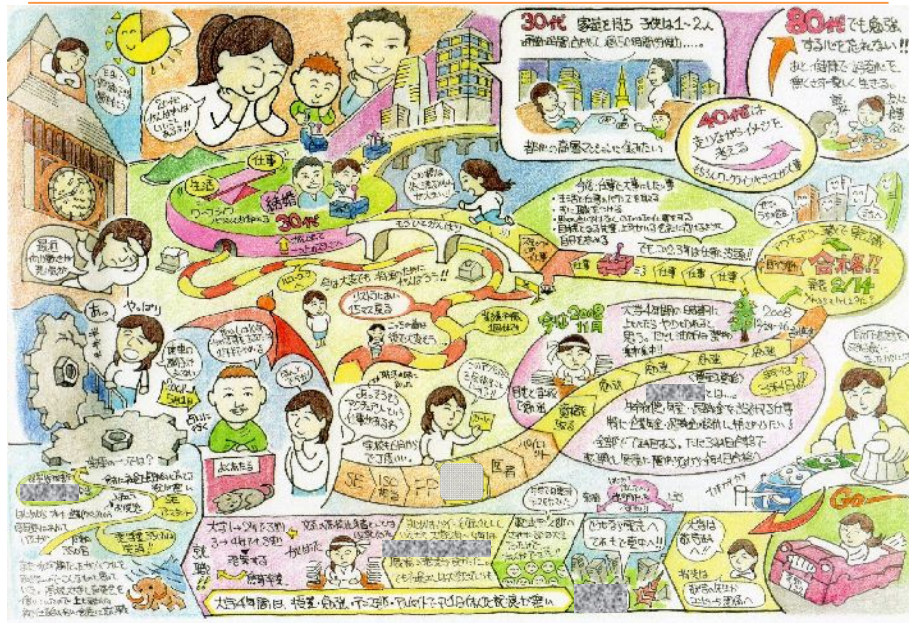
経営者の想い、組織の想い、個人の想いと事例を紹介してもらい、加藤講師からは「例えば経営者の思いを余すところ無く理解している部下や社員はいるのでしょうか？でも理解しようとした時に、朝礼や会議の席で社長が少し話をするだけではわからないのです。」とお話がありました。

確かに、多くの企業においては経営理念や経営者の思いが浸透していない組織が多く見られます。なぜそのようなことが起きるのでしょうか。それは「伝え方」に問題があるのかもしれない。アウトルック・スケッチは1枚にその想いが表現されており、それを使って説明すれば、言葉で説明しきれない部分や、言い忘れてしまうようなこともしっかりとわからせることが可能となるのです。

## 個人の想い

40歳の自分が今の自分を応援する

maenomeri



### ワーク開始！

2グループに分かれ「上司と部下」の関係をテーマにアウトルック・スケッチをつくってみました。上司はさらにその上の上司から「業績をもっとあげろ」「部下育成をしっかりとやれ」とせつつかれ、家庭では「子供の教育に関心を持って」「家庭サービスは？」と突っ込まれている様子がよくわかります。職場では部下に「何もやらない」「自分勝手」と陰口をたたかれる始末。上司側の状況がよくわかり、部下もただ対立していても何も前進しないことに気がつくかもしれません。

## ある職場にて

イライラする上司、愚痴をこぼす部下

maenomeri



### ワークを振り返って

絵を描いてわかること、アウトルック・スケッチ全体を見渡して気づくことがあります。

「相手の立場に立って考えること」

こんな当たり前のことができていない日常に気がつくことができました。

## コーディネート・ワーク

問題提議： A社は派遣社員を雇用することとなりその新人歓迎会を行ないました。  
ある社員がある派遣社員Bさんに「あなたは\* \*町にお住まいですね。私は++町  
ですから親しくしましょう」と話しかけたところ、派遣社員のBさんより「この会社の個人  
情報保護はどうなっているのだ、こんな会社では働けない」と入社を辞退し、加えて  
訴訟騒ぎとなってしまいました。

以上の問題提議をふまえた上でこの問題に対するグループディスカッションを行い、メンバーの  
認識や問題の本質について話し合った。その後、アウトルック・スケッチをどのように研修や人材  
育成に取り入れれば効果が出るのかのグループで討議を行ない、グループごとに代表意見を発表。

## コーディネート・ワークの成果

### 第1グループ

まず「法は法」という意識を確実に持ってもらう。その上で「全員研修」としてアウトルック・スケ  
ッチを用いて個人情報保護を守らなかったときにどうなるかに関するものをあちこちに貼って考えて  
もらう機会を増やす。またこのアウトルック・スケッチを「参加型ツール」として捉えてみる。ただ、  
これだとあまりに無機質なので「相手の立場も考える」ということを合わせて伝えていく。

### 第2グループ

この問題の本質はコミュニケーションにあるだろう。つまりむやみに研修を行うことが正しい選択  
とは思えない。まず問題として

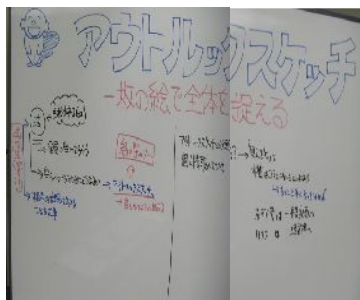
- ・経営陣の個人情報の希薄さ
- ・社員の個人情報に対する意識とコミュニケーション

と分け、アウトルック・スケッチでは

- ・経営陣には個人情報漏洩リスクの見える化
- ・社員には個人情報の研修

という組み合わせで教育を進めて行く。

## ワーク風景



### 第5回研修コーディネート・ワークショップ

テーマ： 想いの見える化から人材育成を考える  
開催日時： 2009年1月23日(水) 19:00~21:30  
会場： 中小企業振興公社秋葉原庁舎 会議室  
参加者： 8名(講師除く)

インストラクター(講師)	まへのめり株式会社代表取締役	加藤秀一
ファシリテーター、報告書作成	日本研修コーディネーター協会会員	内田賢司、佐藤成臣
会場手配	日本研修コーディネーター協会会員	佐藤成臣